

# 夏こそ 短研だ!



沖縄県立総合教育センター

## 夏期短期研修

講座数 86領域102講座  
(集合81講座・オンライン21講座)

### 開催・募集期間

研修開催期間：7月22日～8月22日

1次募集期間：5月22日～5月30日

2次募集期間：6月13日～6月20日

※2次募集は一次で定員に達していない講座及びオンライン講座のみ

### 実施講座一覧



講座一覧詳細は、  
「夏期短期研修システム」

### 受講申込み

#### ①全国教員研修プラットフォーム (Plant)

対象：小・中学校・高等学校・特支学校教諭の本務教諭

(校長・副校長・教頭・教諭・養護教諭・栄養教諭)

#### ②夏期短期研修システム

対象：上記 (Plant) 受講対象外の教職員

(小・中学校・高等学校・特別支援学校の臨時的任用職員、事務職員、  
実習助手、栄養職員、私立学校職員、認定こども園、幼稚園職員 等)



受講申込み詳細は、  
「夏期短期研修システム」

# 令和7年度 夏期短期研修講座実施要項

沖縄県立総合教育センター

## 1 目的

本県教育目標達成及び今日的教育課題を解決していくために、教科・領域等に関する指導力の向上を図るとともに、教職員としての資質を高め、本県教育の活性化と発展に資する。

## 2 方針

- (1) 今日的教育課題を踏まえた研修講座とする。
- (2) 本総合教育センター（以下、本センター）の調査研究の成果を講座内容に生かす。
- (3) 理論と実践の一体化を図る研修講座とする。
- (4) 専門的・技術的な習得とともに、教師力の向上を図る研修講座とする。

## 3 研修内容

- (1) 教科・領域に関する専門的・技術的な内容とする。
- (2) 学習指導要領への対応を図るとともに、学校教育の今日的課題や教育現場のニーズに対応できる内容とする。
- (3) 研修の成果が教育実践に役立つ内容とする。

## 4 形態

- (1) 教職員の資質向上及び、教科・領域の専門性の充実と深化を図る講座を開設する。
- (2) 集合による研修及びオンラインでの研修（集合+オンライン、集合研修録画配信含）を開設する。
- (3) 講義、演習、実習、実験、観察、教材・教具製作、実践発表及び研究協議等効果的な研修形態を組み合わせて実施する。

## 5 対象

県内の認定こども園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、後期中等教育機関等の教職員とする。臨時的任用教職員（講座日に任用期間内にある者）の受講も可とするが、応募者多数の場合は本務教職員を優先するものとする。

※「教育公務員特例法に基づく研修受講履歴記録・受講推奨について」より3-(1)-①に該当

## 6 開催期間

令和7年7月22日(火)～8月22日(金)

## 7 募集について

- (1) 実施要項の配布（各認定こども園、幼稚園、学校及び関係機関宛て）及び講座内容等の公開  
令和7年5月7日(水)以降に講座一覧をメール及びWebページを通して公開する。
- (2) 募集期間及び可否決定開示予定  
一次募集期間：令和7年5月22日(木)～令和7年5月30日(金)  
一次可否決定開示：令和7年6月13日(金) 予定  
※ 一次募集で定員に達しない講座のみ二次募集を行う。また、オンライン講座は担当主事の判断で二次募集を行う。  
二次募集期間：令和7年6月13日(金)～令和7年6月20日(金)  
二次可否決定開示：令和7年7月4日(金) 予定

## 8 応募及び受講決定・通知の方法

※ 対象職員別で使用する受講申し込みシステムが異なる。

### (1) 全国教員研修プラットフォーム (Plant)

対象：小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の本務教諭  
(校長・副校長・教頭・教諭・養護教諭・栄養教諭)

※ 詳細は、「全国教員研修プラットフォーム (Plant)」FAQ等を確認する。

### (2) 夏期短期研修システム

対象：上記「全国教員研修プラットフォーム (Plant)」対象外の教職員

(小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の臨時的任用職員、事務職員、実習助手、栄養職員、  
私立学校職員、認定こども園、幼稚園職員 等)

夏期短期研修システムにログイン後、基本的に以下の手順及びシステム内に示された方法で申込む。

※ 夏期短期研修システムURL: <https://tanken.open.ed.jp/school/>

もしくは本センターWebページトップより、夏期短期研修システムへのリンクをクリックする。

① 申込者個別で各講座への「仮申込」登録を行う。

② 学校管理者で所属職員登録講座毎の「仮申込」承認で「本申込」登録を行う。

※ 研修の受講は本属長の承認が必要(教育公務員特例法第22条)であるため、本システムでは二段階申し込みとしている。

③ 講座担当主事で「本申込」登録者から「選考」により「受講可否決定」を行う。

④ 学校管理者で所属職員の「受講可否決定」を確認し、申込者個別に通知する。

## 9 応募上の留意点

(1) 仮申込・本申込とも、7(2)の応募期間内で実施すること(期限厳守 期間外追加不可)。

(2) 夏期短期研修システムによる応募について

※ 学校ID及びパスワード(申込者用・学校管理者用)を使用し、夏期短期研修システム内申込(承認)ページへログインする。

① 県立学校及び市町村立小中学校のIDは事務室で使用する学校番号(6ケタ数字)とし、それら以外の学校・園のIDは本センターより管理者宛てに配布する。関係機関は、夏期短期研修システムより問い合わせを行う。

② 申込者用パスワード及び学校管理者用パスワードを管理者宛てに配布する。

ア 申込者用パスワード：所属教職員に通知し、講座仮申込時に使用する。

イ 学校管理者用パスワード：所属教職員の仮申込承認(必須)・差戻・取消・確認・通知時及び、講座辞退・欠席を届け出る際に使用する。

ウ (申込者)「仮申込」は、夏期短期研修システムに学校ID及び申込者用パスワードでログインし、申込者個別で行う。【重要】「仮申込」後は学校管理者へ「本申込」の依頼をする。

③ 講座内容・期日・受講形態を確認し、予定確認調整の上、以下の点及び夏期短期研修システム上の説明・注意事項を熟読し、入力漏れ等がないように「仮申込」を行う。

ア メールアドレス登録は必須とする。

県立学校及び市町村立小中学校の教職員は、個人Openメールアドレスの登録を必須とする。

県立学校及び市町村立小中学校以外の教職員は、本センターからのメール(@open.ed.jp)が受信できるメールアドレスの登録を必須とする。

イ オンライン講座は以下の形態とし、注意点に留意し仮申込をする。詳細は別添「オンライン講座受講上の注意」に記載する。

・オンデマンド型(録画配信)：設定期間内に受講する。

・ライブ型(生中継配信)：指定日指定時間に受講する。

・同時双方向型(会議型受配信)：指定日指定時間に受講する。

・ハイブリッド型(集合&オンライン)：上記オンライン講座及び集合研修を複数組み合わせさせた形態

ウ 別日開催講座及びハイブリッド(集合&オンライン)開催講座(A、B等アルファベットのついている講座)については、第1希望のみ申込を行う。第1希望以外でも受講可能な場合は備考欄に「A(もし

くはB等)受講可」の意思を表記すること。

エ 同日時間帯に開催される講座(オンデマンド講座を除く)の複数申込みはできない。

オ 離島などの遠方に在住する受講申込者で、本センター内宿泊棟の利用を希望する場合は、申込ページ内「宿泊棟利用希望」に「有」と示す。

※ 諸事情により「利用否」となる場合もありうる。

④(学校管理者)「本申込」は、夏期短期研修システムに学校ID及び学校管理者用パスワードでログインし、学校管理者が受講承認を行う。

【重要】教育公務員特例法第22条に基づき、以下の点及び夏期短期研修システム上の説明・注意事項に留意し、所属職員の申込承認可否決定を行う。

ア 校内外業務と重なりがないか、他研修(経年研修等)と重なりがないか確認する。

イ 申込者の当該講座受講が適切であるか確認する(校種・教科・校務分掌・教職ステージ等)。

ウ 同日時間帯講座への複数申込みがないか確認する。(オンデマンドの配信期間を除く)

※ 応募期間内のみ学校管理者による受講取消が可能。

応募期間以降は12(3)に従い、辞退・欠席届の提出が必要。

## 10 受講可否の開示及び確認の方法

受講可否は予定期日(一次:6月13日 二次:7月4日)に、全国教員研修プラットフォーム(Plant)及び夏期短期研修システムにて開示する。

(1) 全国教員研修プラットフォーム(Plant) 受講申込者

申込者各自で、全国教員研修プラットフォーム(Plant)を確認する。

(2) 夏期短期研修システム 受講申込者

① 夏期短期研修システムにて開示後、学校管理者は申込者に以下の方法で通知する。

※ 夏期短期研修システム以外での可否決定通知は行わない。

ア(学校管理者) 学校ID及び学校管理者用パスワードでログインし所属職員の受講可否を確認・印刷するとともに、すみやかに申込者個別に可否決定通知を行う。

イ(申込者) 受講可の場合、11 受講に関して 12 受講上の注意 に従い、受講する。

② 受講可否理由等の問い合わせについては応じない。

## 11 受講に関して

(1) 集合研修受講可の場合

① 全国教員研修プラットフォーム(Plant)及び夏期短期研修システム上の各講座個票に記載された日時・場所で実施する。その際、各講座の注意事項を確認し、準備すべきものがあれば持参すること。

② 本センターもしくは講座担当より要請があればマスク着用で受講すること。

③ 離島などの遠方に在住する受講申込者で、本センター内宿泊棟の利用を希望する場合は、本センターWebページ(総合案内-宿泊施設利用案内)から申込みを行う。

<http://www.edu-c.open.ed.jp/syukuhaku.html>

※ 諸事情により「利用否」となる場合もありうる。

(2) オンライン研修受講可の場合

① 講座受講方法は、講座開始日前に申込時登録のメールアドレス宛てに通知するので、随時確認すること。前日までに通知がない場合は迷惑メールフォルダ確認の上、講座担当主事に連絡をすること。

② 期間・時間が設定されている講座に関しては、期間内・時間厳守で視聴すること。

③ 配信動画等視聴できない場合は、講座担当主事へ連絡すること。

(3) 開催方法を変更する場合

集合による講座の実施が難しくなった場合、講座開催方法の変更・規模縮小・期日変更・全面オンラインでの開催、中止等を行う場合がある。その際、夏期短期研修システム上及びメールで通知を行うので、随時確認を行うこと。

※ 電話等による通知や対応は原則として行わない。

## 12 受講上の注意

- (1) 研修を受講するのにふさわしい服装とすること。
- (2) 受講マナー遵守を心がけること。迷惑行為等があった場合は所属校へ連絡の上退席していただくこともある。

### (3) 受講辞退及び欠席する場合

※ 対象職員別で受講辞退及び欠席申請方法が異なる。

#### ① 全国教員研修プラットフォーム (Plant) 受講申込者

「全国教員研修プラットフォーム (Plant)」掲載されている受講講座個票等を参照し、学校管理者を通して各講座担当班へ、「夏期短期研修システム内、辞退・欠席連絡用Forms」より申請する。

#### ② 夏期短期研修システム受講申込者

ア 申込者より学校管理者に報告する。

イ 学校管理者は学校ID及び学校管理者用パスワードで本システムにログインし、本システム上で当該講座名・申込者を確認した後、すみやかに所定事項を記入し申請する。

- ・講座日以前の段階で受講できないことが判明した場合・・・辞退手続き
- ・講座日当日に事情により出席できない、できなかった場合・・・欠席手続き
- ・オンライン受講者で受講できない、できなかった場合・・・辞退手続き

※ 辞退・欠席をする場合、申込者は学校管理者にその旨を伝える。学校管理者は、上記要領ですみやかに申請を行う。急な事情等により連絡が必要な場合は、教育センターIT教育班へ電話連絡を行う。

### (4) オンライン受講の場合、

- ① 講座の録音・録画は原則として禁止とする。
- ② 学校管理者は受講者が勤務時間内に受講できるよう、場所・機材やネットワークの使用許可、職員へ周知するなどの配慮を行うこと。
- (5) 来所受講の場合、本センターの駐車スペースには限りがあるので、公共交通機関を利用するか、できるだけ乗り合わせて来所すること（近隣商業施設等への駐車禁止）。
- (6) 安全運転を心がけ本センター周辺、本センター内は徐行運転をすること。
- (7) 昼食については各自で対応すること。
- (8) 本センター内は「禁煙」とする。
- (9) 宿泊棟を利用する受講者は、本センターが示す利用上の注意事項を遵守すること。
- (10) 台風接近時における対応は以下のとおりとし、本センターWebページでも随時公開する。なお、これは講座実施に関する本センターの対応であり、台風接近による講座等中止時の特別休暇の付与については、受講者本人で所属長に指示を仰ぐこと。

#### <台風が来る場合>

##### ① 次のいずれかの場合、講座等は中止する。

ア. バスが運行していても午前7時までに暴風警報が発表された場合

イ. 暴風警報が発表されていなくても午前7時以降にバスの運行が停止される場合

##### ② 講座中に暴風警報が発表された場合は、本センター所長が決定する。

#### <台風が去る場合>

③ 始発からバスの運行が再開されたときは、通常どおり講座を実施する。

④ 午前10時までにバスが運行されたときは、午後から講座を実施する。

⑤ 午前10時以降にバスの運行が再開されるときは、講座は中止する。

※ 原則は上記のとおりとし、会場や講師の都合により変更も考えられますので、本センターWebページ、Teamsやメール等を確認すること。

※ また、台風被害に伴う本センター停電による講座等中止・変更も考えられます。その際は、受講者に連絡不可能な場合がありますので、「センター停電状況」についても併せて確認すること。

## 13 その他

夏期短期研修に関する最新情報については、本センターWebページ及び夏期短期研修システム上に公開するので、随時参照すること。